

土浦市駐車場整備事業経営戦略

令和3年度～令和7年度

令和3年3月

土 浦 市

目次

1. 事業概要	
(1) 事業形態等	1
(2) 料金形態	2
(3) 駐車場周辺環境について	3
2. 経営の基本方針	3
3. 投資・財政計画（収支計画）	
(1) 投資・財政計画（収支計画）	6
(2) 策定の説明	3
(3) 今後の取組概要	4
4. 公営企業として実施する必要性	5
5. 経営戦略の事後検証，更新等	5
<別紙>	
経営比較分析表	8

土浦市駐車場整備事業経営戦略

団 体 名 : 土浦市

事 業 名 : 駐車場事業

策 定 日 : 令和 3 年 3 月

計 画 期 間 : 令和 3 年度 ~ 令和 7 年度

1. 事業概要

(1) 事業形態等

法適(全部適用・一部適用) 非適の区分	法非適用	事業開始年度	昭和47年		
職 員 数	3人(兼務)	施設名	土浦市駅東駐車場 土浦市駅西駐車場 土浦市駅東口広場駐車場 土浦市荒川沖駅東口広場駐車場 土浦市荒川沖駅西口広場駐車場 土浦市内西駐車場		
種 類 類 造 立 地 経 過 年 数		種類	立地	構造	経過年数
	土浦市駅東駐車場	都市計画駐車場	駅	立体式	35年
	土浦市駅西駐車場	届出駐車場	駅	立体式	23年
	土浦市駅東口広場駐車場	その他駐車場	駅	広場式	30年
	土浦市荒川沖駅東口広場駐車場	その他駐車場	駅	広場式	30年
	土浦市荒川沖駅西口広場駐車場	その他駐車場	駅	広場式	22年
	土浦市内西駐車場	その他駐車場	商業施設	広場式	48年
駐 車 場 面 積 収 容 台 数 営 業 時 間 一 時 間 当 た り の 料 金		駐車場面積	収容台数	営業時間	一時間当たりの料金
	土浦市駅東駐車場	28,075㎡	1,155台	24時間	200円
	土浦市駅西駐車場	11,716㎡	467台	24時間	200円
	土浦市駅東口広場駐車場	380㎡	13台	24時間	100円
	土浦市荒川沖駅東口広場駐車場	250㎡	6台	24時間	100円
	土浦市荒川沖駅西口広場駐車場	267㎡	6台	24時間	100円
	土浦市内西駐車場	303㎡	17台	24時間	-
収 益 的 収 支 比 率		H29	H30	R1	
	土浦市駅東駐車場	217.2	247.1	207.1	
	土浦市駅西駐車場	42.1	40.6	100.1	
	土浦市駅東口広場駐車場	323.8	391.6	323.1	
	土浦市荒川沖駅東口広場駐車場	179.7	347.2	279.7	
	土浦市荒川沖駅西口広場駐車場	221.5	385.1	309.1	
	土浦市内西駐車場	1851.4	6295.2	1392.5	

		H29	H30	R1
稼働率 (1日平均駐車台数/ 収容台数)	土浦市駅東駐車場	24.1	24.7	26.1
	土浦市駅西駐車場	64.1	63.9	76.7
	土浦市駅東口広場駐車場	570.3	555.5	565.1
	土浦市荒川沖駅東口広場駐車場	320.0	285.3	265.8
	土浦市荒川沖駅西口広場駐車場	393.4	381.7	406.2
	土浦市内西駐車場	98.0	100.0	97.3
民間活用の状況	ア 民間委託	土浦市内西駐車場を除く全ての駐車場 (施設管理及び保守点検, 夜間監視業務等を民間委託)		
	イ 指定管理者制度	-		
	ウ PPP・PFI	-		

(2)料金形態

料金の概要	<p>【土浦市駅東駐車場】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最初の1時間 200円, 以後30分毎に100円, 24時間毎の上限金額1,000円 ・定期券1ヶ月 10,000円 ・自動二輪車については1時間毎に100円, 24時間毎の上限金額500円 ・大型車(長さ5.0m, 幅2.0m及び高さ2.35mを超える車)については5倍の額 ・回数券(100円券11枚1,000円, 200円券11枚2,000円) ・ホテル宿泊者専用サービス券(24時間券 1枚500円)※ホテル事業者のみ購入可能 <p>【土浦市駅西駐車場】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最初の1時間 200円, 以後30分毎に100円, 24時間毎の上限金額1,000円 ・定期券1ヶ月 10,000円 ・回数券(100円券11枚1,000円, 200円券11枚2,000円) <p>【土浦市駅東口広場駐車場】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1時間毎に100円, 上限金額の設定なし <p>【土浦市荒川沖駅東口広場駐車場】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1時間毎に100円, 上限金額の設定なし <p>【土浦市荒川沖駅西口広場駐車場】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1時間毎に100円, 上限金額の設定なし <p>【土浦市内西駐車場】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・月極 1ヶ月6,600円
-------	---

(3) 駐車場周辺環境について

各駐車場は、中心市街地及び駅前広場内に立地し、近隣には、駅、商業施設、図書館、運動公園(J:COMフィールド土浦、J:COMスタジアム土浦)等が存在する。

【主な周辺施設について】

土浦市駅東駐車場	JR土浦駅、商業施設、図書館、運動公園
土浦市駅西駐車場	JR土浦駅、商業施設、図書館
土浦市駅東口広場駐車場	JR土浦駅
土浦市荒川沖駅東口広場駐車場	JR荒川沖駅
土浦市荒川沖駅西口広場駐車場	JR荒川沖駅
土浦市内西駐車場	商店街、亀城公園

2. 経営の基本方針

中心市街地活性化及び商業支援	: 近隣の買い物客や事業者等の駐車場として、市内の商業を支援する。
首都圏等への通勤支援	: 京葉方面・水戸方面等への通勤者の駐車場として、支援する。
経営基盤の強化	: 安定した経営を維持できるよう広報活動を強化する。
満足度の高いサービスの提供	: 利用者のニーズを的確に把握し、顧客満足度向上に努める。

3. 投資・財政計画(収支計画)

(1) 投資・財政計画(収支計画) : 別紙のとおり

(2) 投資・財政計画(収支計画)の策定に当たっての説明

① 収支計画のうち投資についての説明

R3年から4年にかけて土浦市駅東駐車場及び土浦市駅西駐車場に設置しているエレベーター改修工事を実施予定。また、土浦市駅東駐車場内の消火設備の交換を予定。
土浦市駅西駐車場において、泡消化管の塗装をH28年より実施しており、R6年に完了予定。
R3年に新硬貨(500円)、R6年度に新紙幣が発行されることから、精算機の改修が必要。
施設全体で年間2,000千円程度の修繕費を予算として確保し、日常的に修繕を行っていく。

② 収支計画のうち財源についての説明

駐車場料金収入が主な収入源となる。R1年度において駐車場の料金改定を実施したことにより、定期契約利用が増えたことや、駐車場の回転率の向上が見られたことから、今後の収益増が期待されたが、R2年度においては新型コロナウイルスの影響により収入が減少している。
令和3年度は、新型コロナウイルスのワクチン接種が始まることから、イベント等も徐々に再開され、駐車場利用も回復してくるものと思われる。
令和4年度以降については、中心市街地の飲食店も賑わいを取り戻し、それに連動して収益も増えると思われるが、数年スパンの緩やかな回復になると見込んでいる。

③ 収支計画のうち投資以外の経費についての説明

収益の状況により、2～3千万円を一般会計へ繰り出す予定。
 また、施設の老朽化に伴い、大規模な修繕が必要になることが予想されるため、積立金により大規模修繕に備える。
 R3年より、H29年度に実施した土浦駅東駐車場大規模修繕工事の起債償還が始まり、R14年に償還が完了する予定。

(3) 投資・財政計画(収支計画)に未反映の取組や今後検討予定の取組の概要

① 今後の投資についての考え方・検討状況

投資の平準化に関する事項	修繕箇所及び設備投資等を精査し、計画的な投資を行う。
施設等の統合・縮小・廃止に関する事項	-
防災・安全対策に関する事項	R2年度に駐車場内の監視カメラ交換工事が完了し、全てのカメラをデジタル化。今後は防災設備、安全設備等の補修や更新を行い、安全性を高める。
民間の活力の活用に関する事項 (PPP・PFI など)	-
その他	-

② 今後の財源についての考え方・検討状況

料金形態に関する事項	R1年7月に料金改定を実施した。今後は、経営状況が回復した後、指定管理者制度に移行し、近隣の状況を見ながら民間の経営ノウハウを活かした料金形態を設定していく。
利用者増加に向けた取組み	定期駐車は安定した収益となっているが、普通駐車の利用率が低いため、現在業務委託している民間会社からアドバイスをもらいながら、利用率向上に努める。 また、施設更新を行い、利用者の満足度を高めていく。
繰入金に関する事項	今後も繰入金に頼ることなく、事業を運営していく。 令和元年度は一般会計へ3千万円繰出しており、今後も収益に応じて、年間2～3千万円を繰出す予定。
資産の有効活用に関する事項	中心市街地及び駅前に立地し、収益が見込める優位な条件が揃った場所であることから、また、立体駐車場としての「屋根付き」を全面的にアピールし、今後も効率的な運営に努め、財源を確保していく。
その他	-

③ 投資以外の経費についての考え方・検討状況

民間の活力の活用に関する事項 (指定管理者制度、PPP・PFIなど)	指定管理者制度の導入を令和3年度から予定していたが、新型コロナウイルスの影響により利用者が激減し、今後の見通しが全く立たないことから、導入については令和4年度以降に延期している。社会情勢と駐車場利用状況を注視しながら、導入時期を検討していく。
職員給与費に関する事項	市職員3名(兼務)で行う。
委託費に関する事項	駐車場管理運営業務委託により、複数業務(管理運営、夜間監視、小規模修繕、物品購入等)を包括的に委託することで、経費の削減を行っている。
その他	-

4. 公営企業として実施する必要性など

事業の意義、提供するサービス自体の必要性	各駐車場は、中心市街地及び駅前広場内に立地し、土浦駅及び荒川沖駅の利用客や近隣商業施設の駐車場として機能し、中心市街地の集客力を高めることや道路交通の円滑化の機能を有する。また、土浦市駅東駐車場及び土浦市駅西駐車場は土浦市役所及び市立図書館の駐車場としての機能を有している。
公営企業として実施する必要性	駐車場事業を継続的に運営することで、道路交通の円滑化を図るとともに、駅及び中心市街地への来訪者の利便性を向上させ、中心市街地の活性化を図る役割を担っている。また、土浦市役所駐車場として来庁者及び公用車の駐車場としての機能も有している。

5. 経営戦略の事後検証、更新等に関する事項

経営戦略の事後検証、更新等に関する事項	経営比較分析表を活用しながら進捗管理を行い、社会情勢が大きく変化するタイミングで、経営戦略の見直しを行う。
---------------------	---

投資・財政計画
(収支計画)

(単位:千円、%)

区分	年度	前々年度 (決算)	前年度 (決算)	本年度 (決算見込)	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
収益的収入	1 総業収入	134,693	138,867	99,000	100,000	110,000	120,000	130,000	130,000
	(1) 営業収入	134,690	138,863	98,997	99,997	109,997	119,997	129,997	129,997
	うち 土浦市駅東駐車場	71,356	70,247	46,239	46,724	51,170	55,423	60,047	60,047
	土浦市駅西駐車場	53,823	59,321	47,293	47,751	52,305	56,652	61,378	61,378
	土浦市荒川沖駅東口広場駐車場	5,069	5,136	2,669	2,700	3,500	4,500	5,000	5,000
	土浦市荒川沖駅西口広場駐車場	1,050	973	596	600	700	900	950	950
	土浦市荒川沖駅東口広場駐車場	2,050	1,891	1,078	1,100	1,200	1,400	1,500	1,500
	土浦市内西駐車場	1,322	1,295	1,122	1,122	1,122	1,122	1,122	1,122
	イ 受託工事収入	-	-	-	-	-	-	-	-
	ウ その他	-	-	-	-	-	-	-	-
収益的支出	(2) 営業外収入	3	4	3	3	3	3	3	3
	イ その他	3	4	-	-	-	-	-	-
	うち 駅東駐車場	3	4	3	3	3	3	3	3
	2 総費用	57,142	60,614	63,615	62,358	59,404	59,331	64,237	59,194
	(1) 営業費用	52,746	50,481	56,368	59,097	49,747	49,747	54,716	49,747
	うち 退職手当	1,756	-	-	-	-	-	-	-
	イ その他	50,990	50,481	56,368	59,097	49,747	49,747	54,716	49,747
	うち 土浦市駅東駐車場	26,986	26,752	28,855	30,908	24,912	24,912	27,245	24,912
	土浦市駅西駐車場	21,904	21,728	25,329	25,374	22,449	22,449	24,185	22,449
	土浦市駅東口広場駐車場	1,273	1,246	1,431	1,628	1,485	1,485	1,785	1,485
土浦市荒川沖駅東口広場駐車場	302	277	258	439	296	296	596	296	
土浦市荒川沖駅西口広場駐車場	522	474	446	737	594	594	894	594	
土浦市内西駐車場	3	4	19	11	11	11	11	11	
(2) 営業外費用	4,396	10,133	7,247	3,261	9,657	9,584	9,584	9,447	
うち 一時借入金利息	2,602	1,049	839	841	782	712	646	575	
イ その他	1,794	9,084	6,408	2,420	8,875	8,875	8,875	8,872	
3 収支差引(A)-(D)	77,551	78,253	35,385	37,642	50,596	60,669	65,763	70,806	
1 資本的収入	29,152	-	-	31,460	36,860	-	-	-	
(1) 地方債	-	-	-	31,460	36,860	-	-	-	
うち 資本費平準化債	-	-	-	-	-	-	-	-	
(2) 他会社補助金	18,330	-	-	-	-	-	-	-	
(3) 他会社借入金	-	-	-	-	-	-	-	-	
(4) 固定資産売却代金	-	-	-	-	-	-	-	-	
(5) 国(都道府県)補助金	-	-	-	-	-	-	-	-	
(6) 工事業負担金	10,822	-	-	-	-	-	-	-	
(7) その他	-	-	-	-	-	-	-	-	
2 資本的支出	106,703	65,206	34,352	59,660	73,000	45,000	50,000	47,000	
(1) 建設改良費	9,936	15,898	31,352	31,160	36,000	3,000	3,000	3,000	
(2) 地方債償還金	96,767	19,308	0	8,500	17,000	17,000	17,000	17,000	
(3) 他会社長期借入金返還金	-	-	-	-	-	-	-	-	
(4) 他会社繰上償還金	-	30,000	3,000	20,000	20,000	25,000	30,000	30,000	
(5) その他	-	-	-	-	-	-	-	-	
3 収支差引(F)-(G)	△ 77,551	△ 65,206	△ 34,352	△ 28,200	△ 36,140	△ 45,000	△ 50,000	△ 47,000	

投資・財政計画
(収支計画)

(単位:千円, %)

区分	年度	前々年度 (決算)	前年度 (決算)	本年度 (決算見込)	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
収支再差引	(E)+(I)		13,047	1,033	9,442	14,456	15,669	15,763	23,806
積立金	(K)		9,244	-	10,000	15,000	20,000	20,000	20,000
前年度からの繰越金	(L)		-	3,803	4,836	4,278	3,734	4,403	166
前年度繰上充用金	(M)		-	-	-	-	-	-	-
形式収支	(J)-(K)-(L)-(M)		0	4,836	4,278	3,734	4,403	166	3,972
翌年度へ繰り越すべき財源	(O)		3,803	4,836	4,278	3,734	4,403	166	3,972
実質収支	(P)		-	-	-	-	-	-	-
赤字	(Q)		-	-	-	-	-	-	-
赤字比率	$\frac{(Q)}{(B)-(C)} \times 100$		-	-	-	-	-	-	-
収益的収支比率	$\frac{(A)}{(D)+(H)} \times 100$		87.5	155.6	141.1	144.0	157.2	160.0	170.6
地方財政法施行令第16条第1項により算定した 資金不足の割合	(R)		-	-	-	-	-	-	-
営業収益 - 受託工事収益	(B)-(C)	134,690	138,863	98,997	99,997	109,997	119,997	129,997	129,997
地方財政法による 資金不足の比率	$\frac{(R)}{(S)} \times 100$		-	-	-	-	-	-	-
健全化法施行令第16条により算定した 資金不足の割合	(T)		-	-	-	-	-	-	-
健全化法施行規則第6条に規定する 解消可能資金不足額	(U)		-	-	-	-	-	-	-
健全化法施行令第17条により算定した 事業の規模	(V)	132,144	134,690	138,863	98,997	99,997	109,997	119,997	129,997
健全化法第22条により算定した 資金不足比率	$\frac{(T)}{(V)} \times 100$		-	-	-	-	-	-	-
他会計借入金	(W)		-	-	-	-	-	-	-
地方債	(X)	223,308	204,000	204,000	195,500	178,500	161,500	144,500	127,500
他会計繰入金	(X)								
区分	年度	前々年度 (決算)	前年度 (決算)	本年度 (決算見込)	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
収益的収支分									
うち基準内繰入金									
うち基準外繰入金									
資本的収支分									
うち基準内繰入金		18,330							
うち基準外繰入金		1,761							
合計		16,569							
		18,330							

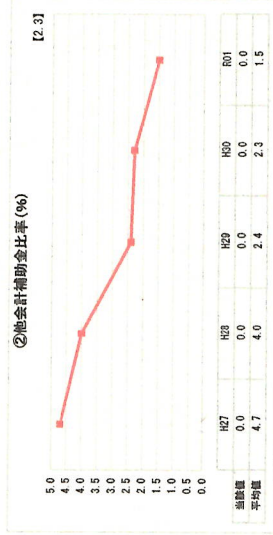
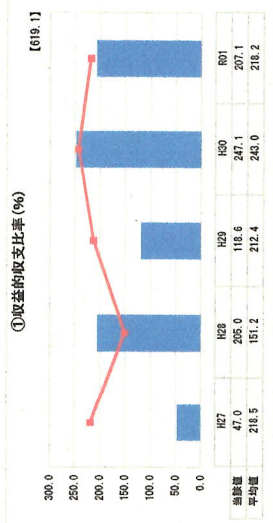
経営比較分析表 (令和元年度決算)

茨城県土浦市 取東駐車場

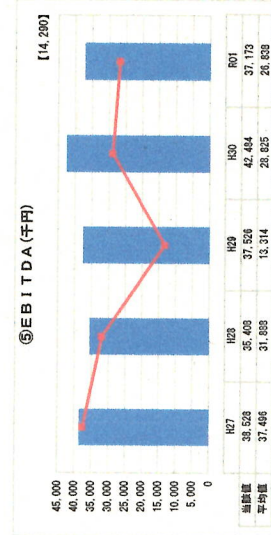
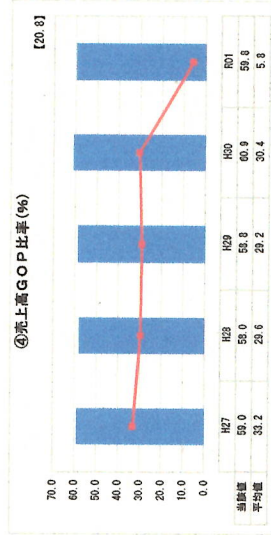
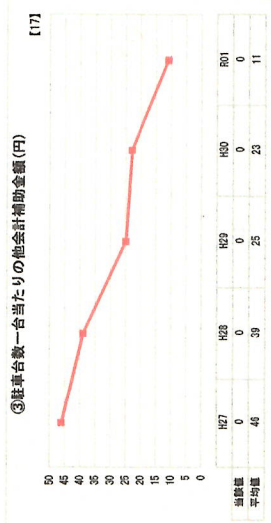
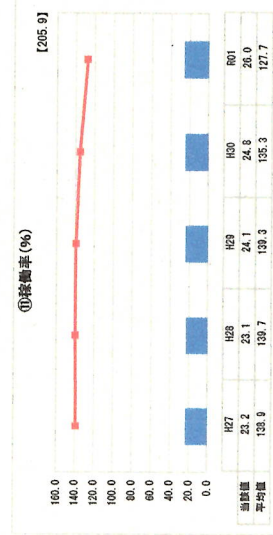
業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非通用	-	A1B1	非設置
自己資本構成比率(%)	構造	建設後の経過年数(年)	
該当数値なし	都市計画駐車場	35	

立地	周辺駐車場の需給実態調査	駐車増使用面積(m ²)
駅	有	28,075
収容台数(台)	一時間当たりの基本料金(円)	指定管理者制度の導入
1,155	200	導入なし

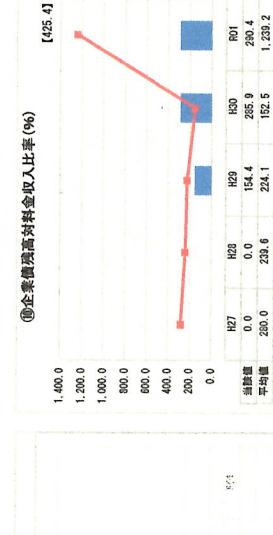
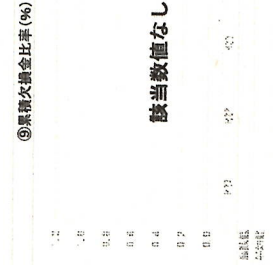
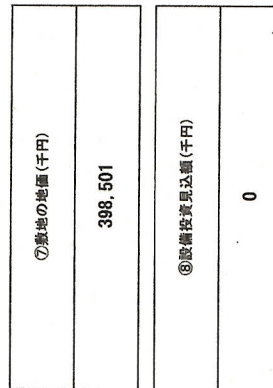
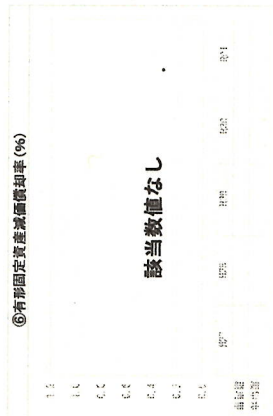
1. 収益等の状況



3. 利用の状況



2. 資産等の状況



グラフ凡例

- 当該施設値 (当該値)
 - 類似施設平均値 (平均値)
- 【】 令和元年度全国平均

分析等

1. 収益等の状況について
平成27年度に駐車場建設時の償還金の返済が終了したため、平成28年度より収益的収支比率が100%を超えていることや、売上高GOP比率が、類似施設平均値と比べて高く推移していることから、安定的な経営が行なわれていますが、稼働率を上げる等により効率的な運営を行なうことで、収益性がさらに強化されるため、利用しやすい経営体系の改革や、指定管理者制度の導入等を検討していきます。

2. 資産等の状況について
供用開始から30年以上経過し、修繕等が必要な箇所もあるため、平成29年度より随時修繕等を実施しております。今後、大規模修繕等により償還等が発生することを踏まえ、計画的な資金計画を定め、また更なる収入増加と経費削減に努めていく必要があります。

3. 利用の状況について
令和元年7月に料金改定を行い、定期契約が増加しており、稼働率が上がっているが、類似施設と比較して低い状態で推移しているため、今後も稼働率を上げるための取組が必要です。

全体概要
当施設の課題については、稼働率が類似施設平均値より低いため、利用者に対する改善や稼働率を上げる方策について検討していきます。また、施設の稼働率を向上させることによる収益的な資金計画に基づき、増収のための効率的な経営を心がけていきます。

経営比較分析表 (令和元年度決算)

茨城県土浦市 駅西駐車場

業種名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非通用	駐車場整備事業	-	A1B1	非設置
自己資本構成比率 (%)	種類	構造	建設後の経過年数 (年)	
該当数値なし	届出駐車場	立体式	23	

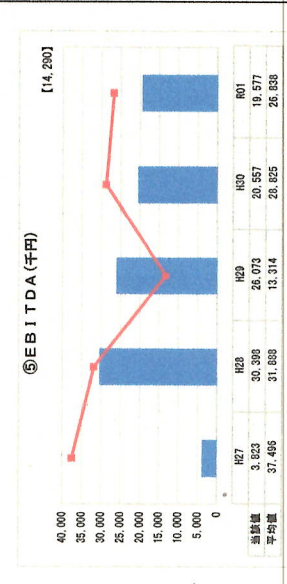
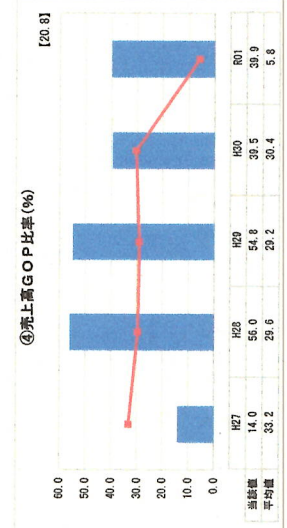
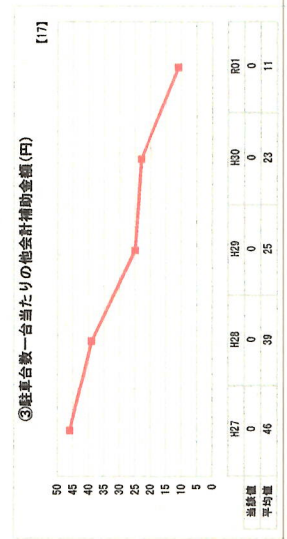
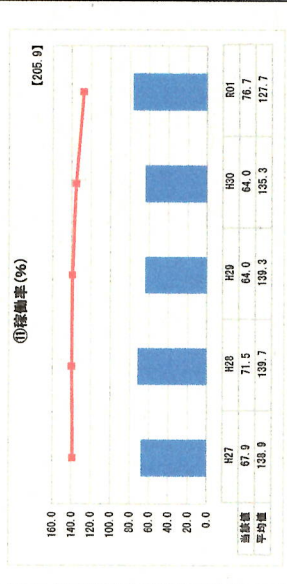
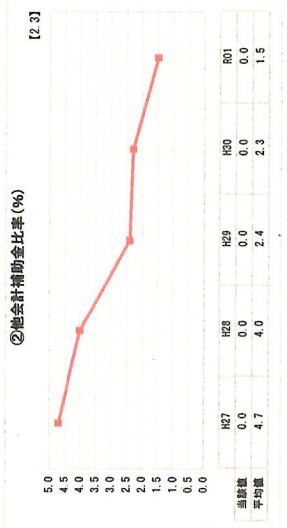
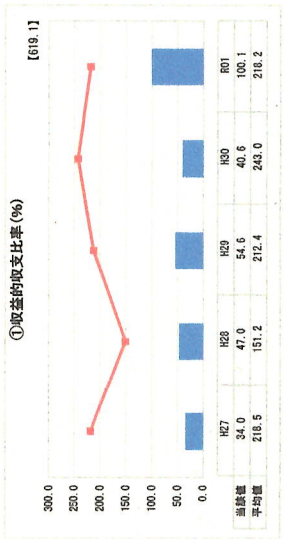
立地	周辺駐車場の供給実態調査	駐車場使用面積 (㎡)
駅	有	11,716
収容台数 (台)	一時間当たりの基本料金 (円)	指定管理者制度の導入
467	200	導入なし

グラフ凡例

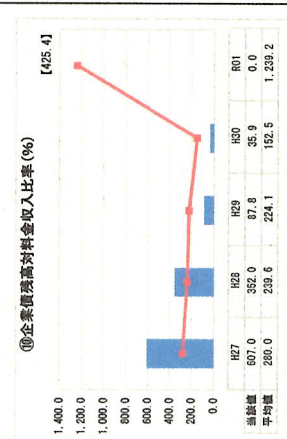
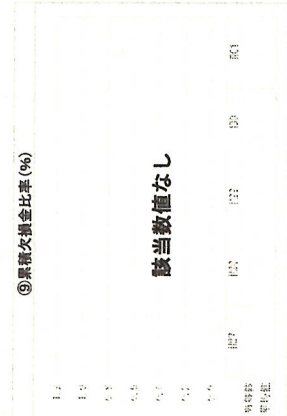
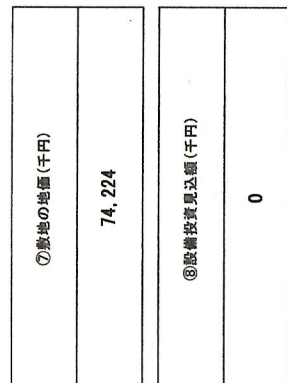
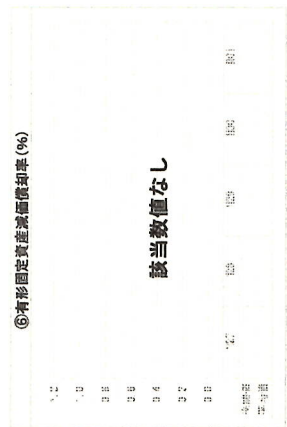
- 当該施設数値 (当該値)
- 類似施設平均値 (平均値)

[] 令和元年度全国平均

1. 収益等の状況



2. 資産等の状況



分析欄

1. 収益等の状況について
令和元年度に駐車場建設費の償還金の返済の返済が終了し、収益的収支比率が100%を超えていることや、売上高GOP比率が、類似団体平均値と比べて高く推移していることから、安定的な経営が実現していることが、EBITDAの数値が低下傾向にあることから、より効率的な運営体制を構築するため、指定管理制度の導入等を検討する必要があります。

2. 資産等の状況について
供用開始から約20年が経過し、修繕等が必要なものもあるが、平成29年度より随時施設の見直しを実施しております。今後、大規模修繕等により償還等が発生することを踏まえ、計画的な資産計画を定め、また更なる収入増加と経営刷新に努めていく必要があります。

3. 利用の状況について
令和元年7月に料金改定を行い、定期費が増加しており、稼働率が上がっているが、類似団体と比較して低い状態で推移しているため、今後とも稼働率を上げるための取組が必要です。

全体経営
収益等状況の課題については、稼働率が類似団体平均値より低いこと、利用者に対しての対応、稼働率を上げる方策について検討していきます。また、施設の修繕費が生じることを見まえ、計画的な資産計画に基づき、増収の為の効率的な経営を心がけていきます。

経営比較分析表（令和元年度決算）

茨城県土浦市 駅前駐車場

業務名 法非通用	業種名 駐車場整備事業	事業名 -	類似施設区分 A3B1	管理者の情報 非設置
自己資本構成比率(%)	種類 構造	構造	建設後の経過年数(年)	
該当数値なし	その他駐車場	広場式	34	

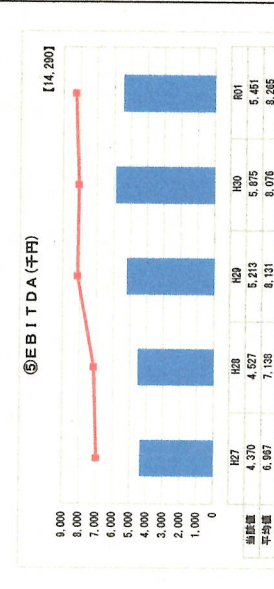
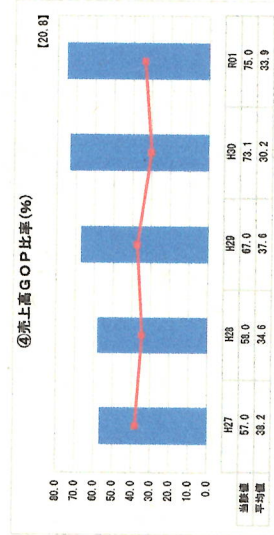
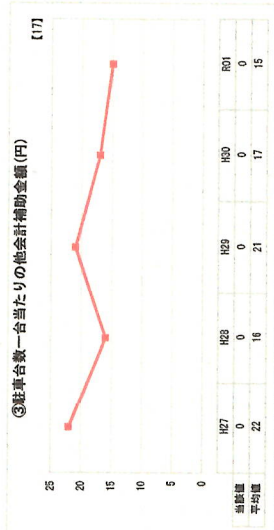
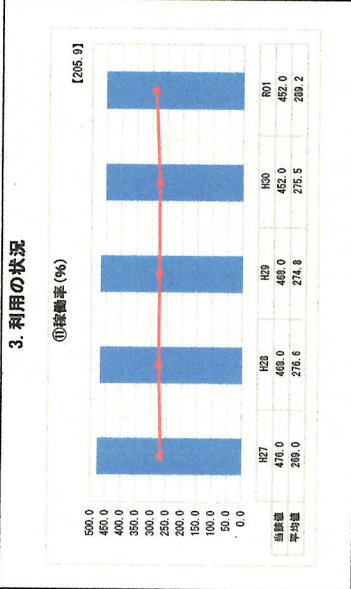
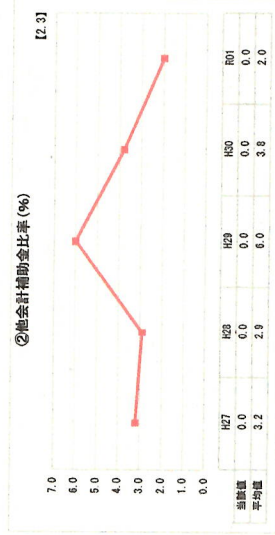
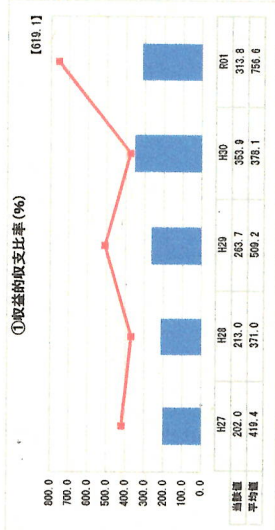
立地 駅	周辺駐車場の無給実態調査 無	駐車場使用面積(m ²) 897
取寄台数(台)	一時間当たりの基本料金(円)	指定管理者制度の導入 導入なし
25	100	

グラフ凡例

- 当該施設値 (当該値)
- 類似施設平均値 (平均値)

[] 令和元年度全国平均

1. 収益等の状況



分析

1. 収益等の状況について
収益的収支比率が100%を超えており、亦上げ高GOP比率も類似施設平均以上に安定した経営が続いていますが、より効率的な管理運営を遂行なうことで、収益性が強化されるため、指定管理者制度の導入等を検討していきます。

2. 資産等の状況について
企業価値も高く、稼働率も高く、稼働率に及ぼす設備投資の予定も無いことから、安定した経営が実現されています。

3. 利用の状況について
利用しやすい立地状況もあり、稼働率について、類似施設平均を上回って堅調に推移しています。

2. 資産等の状況

⑥有形固定資産減価償却率(%)

該当数値なし

⑦敷地の地価(千円)

37,531

⑧設備投資見込額(千円)

0

⑨累積欠損金比率(%)

該当数値なし



全体総括
利用状況も類似施設平均を上回っており、収益的収支比率も100%を超えていることから、これからも安定した経営が実現されます。

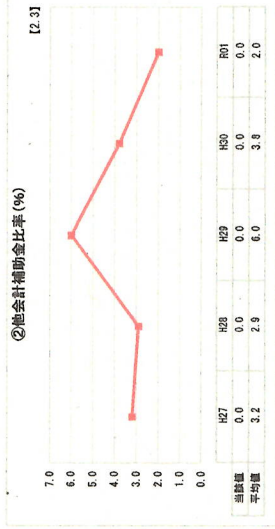
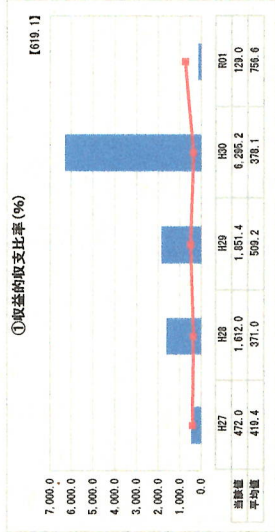
経営比較分析表（令和元年度決算）

茨城県土浦市 内面駐車場

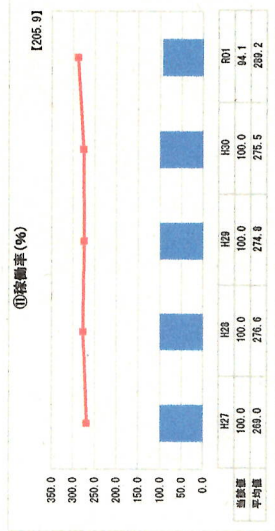
業種名 法非通用	業種名 駐車場整備事業	事業名 -	類似施設区分 A3B1	管理者の情報 非設置
自己資本構成比率(%) 該当数値なし	種類 その他駐車場	構造 広場式	建設後の経過年数(年) 48	

立地 商業施設	周辺駐車場の供給実態調査 有	駐車場使用面積(m ²) 303
取寄台数(台) 17	一時滞り当たりの基本料金(円) -	指定管理者制度の導入 導入なし

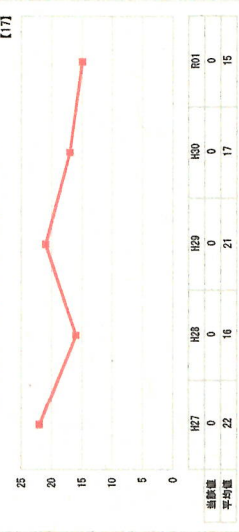
1. 収益等の状況



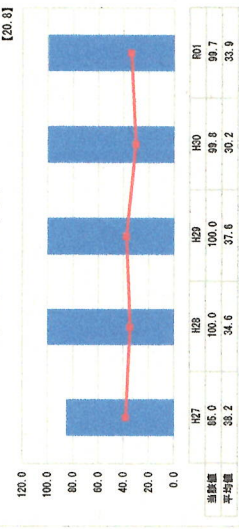
3. 利用の状況



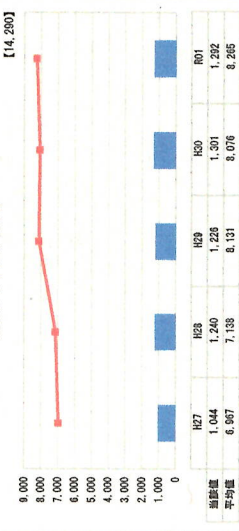
③駐車台数一台当たりの地会計補助金額(円)



④売上高GOP比率(%)



⑤EBITDA(千円)

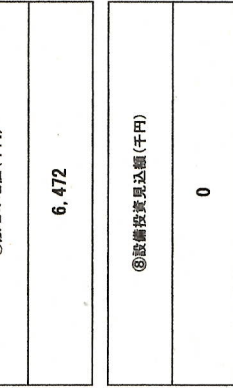


2. 資産等の状況

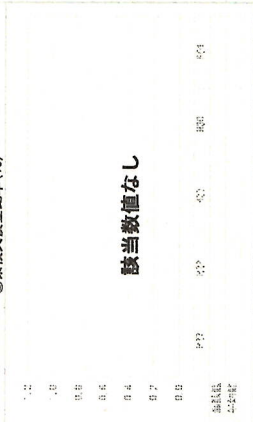
⑤有形固定資産減価償却率(%)



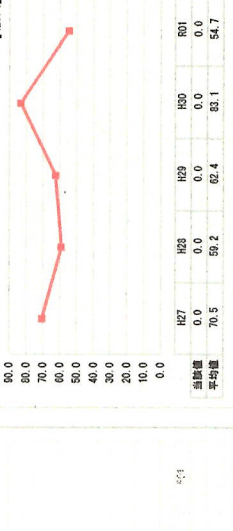
⑦敷地の地面(千円)



⑨累積欠損金比率(%)



⑩企業債繰上償還料金収入比率(%)



グラフ凡例

- 当該施設値 (当該値)
- 類似施設平均値 (平均値)
- 令和元年度全国平均

分析欄

1. 収益等の状況について
収益的収支比率が100%を超えており、稼働率についても、月極め駐車場で94.1%、1%であることから、安定的な経営が行われています。
底層の運営に関して維持管理費等が特にかかっていないことから、指定管理者制度等の活用は検討していません。

2. 資産等の状況について
平均駐車場であり、設備投資の予定もないことから、これからの安定的な経営が見込まれます。

3. 利用の状況について
月極め駐車場であり、区画の稼働率が94.1%となっていることから、安定的な利用状況にあります。

全体経営
収益の状況及び利用の状況とも安定的な経営が行なわれています。